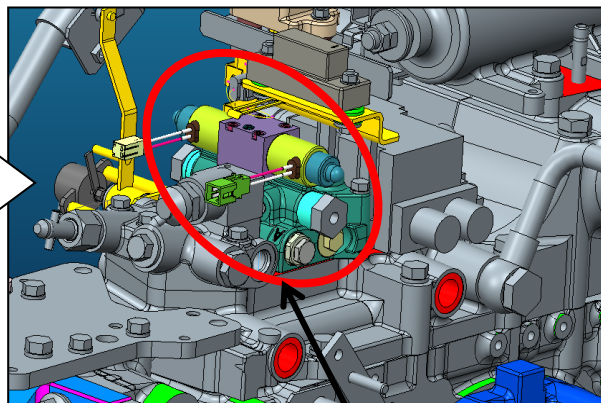
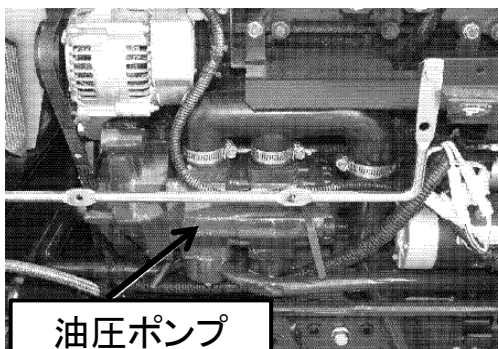


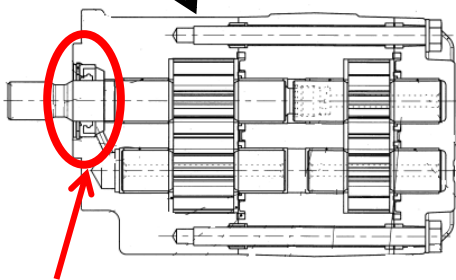
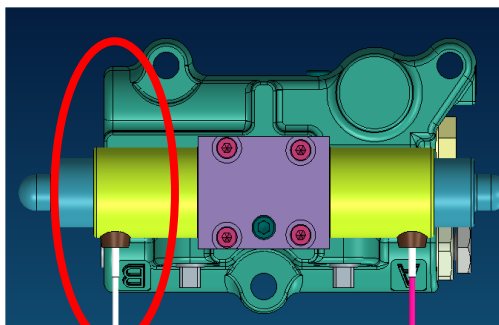
改善箇所説明図



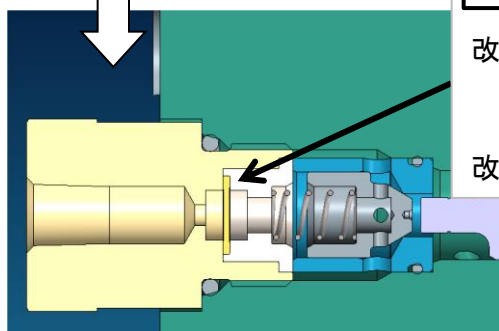
水平制御用バルブ
(スイングバルブ)



油圧ポンプ



不具合発生箇所



油圧絞り弁

改善前: 絞りφ1.1

改善後: 絞りφ3.0

不具合発生箇所

農耕トラクタの水平制御用バルブにおいて、油圧絞り弁の構造が不適切なため、重作業機を装着して作業した場合、油圧ポンプに過大な圧力がかかることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、油圧ポンプのオイルシールが破損し、エンジン内に作動油が流入して、最悪の場合、トランスミッションが作動不良となり、走行不能になるおそれがある。

改善内容

全車両、水平制御用バルブの油圧絞り弁を対策品に交換する。また、油圧ポンプを点検し、オイル漏れがあるものは油圧ポンプを新品に交換する。

交換部品を示す。

識別

ストップバルブのノブ固定ボルトに白色のペイントを塗布する。